

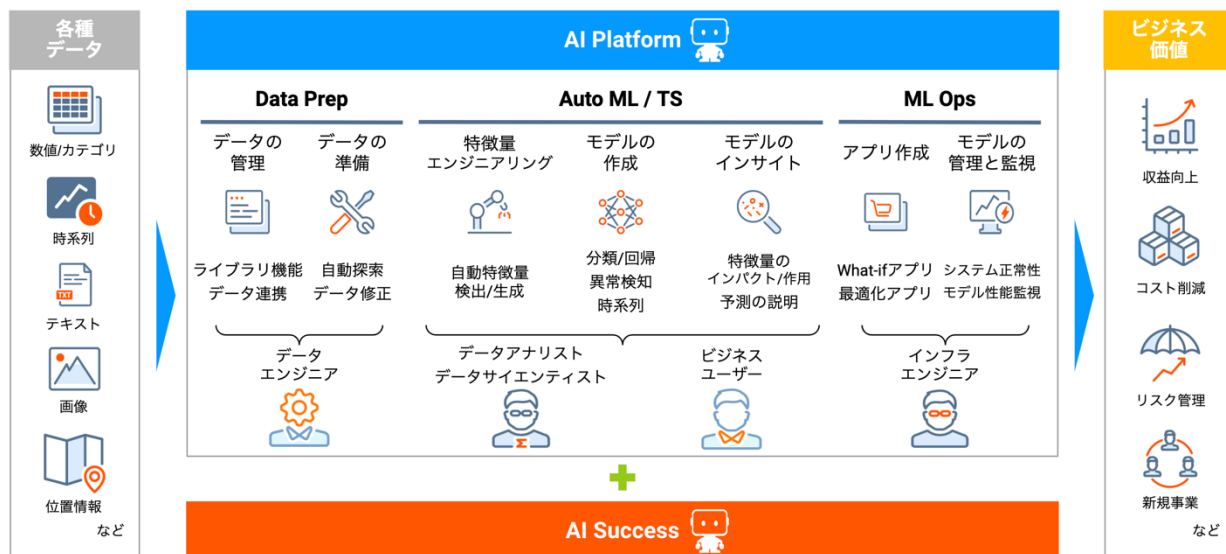


DataRobot、最新バージョン v6.0 の日本提供を開始 「Visual AI」を発表するとともに、自動化の対応機能を大幅に拡張

画像を用いた機械学習を圧倒的にシンプル化、自動化するとともに
 従来の機械学習の概念を超えたエンドツーエンドの自動化により
 エンタープライズ AI プラットフォームをさらに強化

エンタープライズ AI のリーダーである **DataRobot, Inc.**（本社：マサチューセッツ州ボストン、CEO：Jeremy Achin、以下 DataRobot）は、エンタープライズ AI プラットフォーム「DataRobot」の最新版で「Visual AI」による画像を用いたモデリング機能の日本提供を開始しました。また、「DataRobot Paxata」「AI アプリケーション」の国内提供も同時に開始し、「DataRobot ML Ops」「ディープラーニングの自動化」に関する機能強化を行いました。

DataRobot は AI の民主化にあたって、単に機械学習モデルの作成や解釈を自動化しただけでは対応できない課題を解決するため、**AI サクセス プログラム**の提供と合わせてエンドツーエンドの AI プラットフォームの強化を進めてきました。今回の新機能リリースを経て、DataRobot は自ら作り出した機械学習の自動化(Auto ML)カテゴリーにとどまらず、エンドツーエンドでデータから価値創出を行うための主要プロセスである Data Prep（データ準備）、Auto ML（機械学習の自動化）、ML Ops（AI モデルの実運用化）のすべてを自動化できる AI プラットフォームとなりました。





DataRobot

DataRobot v6.0 においては、3つの各主要コンポーネントすべてにおいて非常に重要なアップデートを行いました。

1. Auto ML (機械学習の自動化)

- **Visual AI** : Visual AI は画像を用いたモデルの作成、解釈、利用を圧倒的にシンプル化、自動化することで、ディープラーニングに必要なスキルやリソースを持たない組織でも画像を用いたモデリングを迅速に行うことを可能にします。ユーザーは画像ファイル群をドラッグ&ドロップするだけで、数値、カテゴリ、日付、テキストといった多様なデータとともに画像を活用したモデリングを開始でき、さまざまな AI 活用テーマにおいて精度を向上できます。Visual AI は画像に対して「AI の説明性」も提供するため、画像とモデルの予測結果との関連性を理解した上でモデルを利用できます。

The screenshot shows the DataRobot interface for a model named "Light Gradient Boosted Trees Regressor with Early Stopping (Gamma Loss)". The model is used for car image classification. The interface displays a grid of car images with a color scale from High to Low, indicating the model's prediction confidence for each image. The color scale ranges from yellow (High) to purple (Low). The grid shows various car models and views, with the color scale indicating the model's confidence in identifying them. The interface also shows model details, including the model name, description, and performance metrics like "有用な特徴量・リークage除去済" (64.0%) and "0.0001".

DataRobot のプロダクトおよびカスタマーエクスペリエンス担当シニアバイスプレジデントである Phil Gurbacki は次のように述べています。

「当社は機械学習の自動化におけるパイオニアです。今回、新しく Visual AI 機能を提供することとなり、機械学習自動化テクノロジーがもたらす可能性をさらに押し広げていくことを誇りに思います。今回の新機能によって、あらゆる業界のサブジェクトマターエキスパート (SME) が、従来のデータタイプと共に関連する画像コンテンツを含めることで、ビジネスの新たな課題を解決でき



DataRobot

るようになります。最新版の AI プラットフォームは、ユーザーが AI を活用し、より幅広い観点からより最適な意思決定を実行することを可能にしてくれるのです。」

- **ディープラーニングの自動化** : DataRobot は、先日特許を仮出願した新たな Keras ベースのモデルフレームワークにより、ディープラーニング機能を大幅に強化しました。従来、ディープラーニングモデルの学習はコストと時間を要するものですが、本機能を活用することで、実ビジネスにおいても信頼性が高く、本番環境にデプロイ可能なディープラーニングモデルを容易に構築でき、また、モデル特性を理解することも可能となります。ユーザーはこれらを現在使用している既存のインフラ上で実現できます。
- **Automated Time Series** : Automated Time Series に新しいディープラーニング技術を導入しました。その結果、大規模な複数時系列のモデリングにおける障壁が取り除かれ、そうした予測アプリケーションの作成が容易になりました。

2. Data Prep (データ準備)

- **DataRobot Paxata** : DataRobot Paxata は、初心者でも知識・知見の豊富なユーザーであっても、インテリジェントで使いやすいデータ準備機能を使用して機械学習モデルの学習や予測のために必要なデータの探索、整理、結合、成形することを可能にします。DataRobot は 2019 年 12 月に [Paxata を買収後](#)、DataRobot の AI カタログや予測機能との統合を行いました。これにより、ユーザーは DataRobot Paxata で準備したデータを迅速に AI 開発・利用のプロセスに連携できるようになりました。

プロジェクト: 与信リスクのデータの準備 | Paxata | プロジェクトフロー

ツール | 現在 のデータセットに対するフィルター | パーソナル ソートは 存在しません | フィルター | カラム

年収入 | 数値ヒストグラム | 家所有 | テキスト

何も選択されていません

表示 2 選択した項目

- MORTGAGE 23,615
- RENT 22,490
- OWN 3,835
- OTHER 30
- NONE 30

5 リスト内の一意の値

	ソース	123 メンバーID	123 ローン額	AZ ローン目的タイプ	AZ ローン目的	AZ 原
1		865676	5000	home_improvement	Home Improvement Loan	Ste
2		1892968	18550	debt_consolidation	Debt consolidation	PHI
3		904208	12000	debt_consolidation	Mark	Hei
4		1722749	11500	debt_consolidation	Peer Lending "Veteran" seeking loan	Tec
5		1277879	6000	house	Home Improvement Loan	Nat
6		1281355	4000	medical	Medical	Alls
7		1528932	30000	moving	Loan	Sof
8		1841462	7000	debt_consolidation	Loan	Ca
9		1651361	30000	debt_consolidation	Debt Consolidation	Ast
10		2638417	6000	credit_card	Credit card refinancing	VLC

タスクがその他の作業を確認中: 0 実行中、6 完了、合計 6、0 失敗



3. ML Ops (AI モデルの実運用化)

- **AI アプリケーション** : AI アプリケーションは機械学習モデルを利用したアプリケーションの作成を自動化することで、最終的に意思決定をおこなうユーザーに対して使いやすいAI 利用インターフェースを提供します。AI アプリケーションにより、必ずしもデータサイエンスに馴染みのないビジネスユーザーでも予測モデルを用いた予測値の取得や、予測結果の比較、逆問題による予測値の最適化などを実行でき、ビジネスの意思決定を行うことができます。アプリケーションの作成は自動化されているため、個別に行うモデルのインテグレーションは不要となります。



- **Machine Learning Operations (ML Ops)** : 今回のリリースでは ML Ops の機能拡張として、事前構成済みのモデル実行環境が追加されました。これにより、ユーザーは Python や R などの言語で開発されたモデルファイルを、ドラッグアンドドロップでより簡単にデプロイできます。また、さまざまな環境にデプロイされたモデルからメトリックを取得できるリモート監視エージェントにより、DataRobot 内にデプロイしたかどうかを問わずモデルの監視を一元化することが可能です。

最新リリースの詳細については、DataRobot の「[新機能のご紹介](#)」のページをご覧ください。



DataRobot

■ 「DataRobot, Inc.」について（製品詳細 URL : <https://www.datarobot.com/jp/>）

DataRobot はエンタープライズ向け人工知能（AI）のリーディングカンパニーであり、AI イノベーションを競うグローバル企業に信頼性の高い AI 技術と投資利益率（ROI）を実現するサービスの提供を行っています。DataRobot のエンタープライズ AI プラットフォームは、機械学習モデルの構築、デプロイ、管理を自動化によってエンドツーエンドで提供しデータサイエンスの民主化を実現します。AI を大規模に提供し、継続的にパフォーマンスを最適化することで、ビジネス価値の最大化をサポートします。DataRobot の最先端のソフトウェアと世界最高クラスの AI 実装、トレーニング、サポート、サクセスサービスが、組織の規模や業種を問わず、あらゆる組織においてビジネスの成果を高めています。

DataRobot は創業以来 AI に焦点を絞り、ROI を生み出す AI の提供において実績を挙げています。世界各地にオフィスを構え、New Enterprise Associates、Sapphire Ventures、Meritech、DFJ Growth などの一流企業から 4 億 3100 万ドルの資金を調達しています。

■ 商標関連

- ・ 「DataRobot」は DataRobot, Inc.の登録商標です。
- ・ その他の会社名、製品名、サービス名等は、各社の登録商標または商標です。

報道関係者のお問い合わせ先

DataRobot Japan PR 事務局（MSL 内） 浅野、大森

Email : datarobot_pr@msljapan.com